

令和元年度指定

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」

(地域魅力化型)

令和3年度 研究開発実施報告書 【第3年次】



埼玉県立小川高等学校

巻頭言

埼玉県立小川高等学校長 葦塚雄一

令和元年度より、文部科学省の「地域との協働による高校教育改革推進事業」の研究指定をいただき、「おがわ学」の構築と実践に取り組んでまいりました。この間、埼玉県教育委員会のご指導をいただきながら、小川町、小川町教育委員会、町内各小中学校、地域の皆様との協働による「おがわ学構想委員会（コンソーシアム）」を中心に、「おがわ学」に関わる教材の開発や地域の皆様との連携などを推進してきました。

今、私たちの社会は、ICT技術の急速な進展、少子高齢化、温暖化に伴う地球規模の気候変動など大きな転換点にあります。未来を生きる生徒たちにとって、こうした変化の時代を生き抜くことのできる力の育成が喫緊の課題です。そして、それは同時に、地域を支え地域社会をよりよい方向へ発展させるための力の育成でもあります。

私たちの小川町には、美しい里山や清流などの豊かな自然、長い歴史と伝統に育まれた文化、細川紙と小川和紙など先人たちの知恵を生かした様々な産業や技術など、学ぶべき教育資源が豊富にあります。「おがわ学」は、こうした地域の教育資源を活用した探究的な学びによって、生徒の未来を切り拓く力を育成する学びです。具体的には「自ら課題を発見し、深く考え、主体的に判断することができる生徒」、「小川町に対して愛着や誇りを持ち、小川町を含む地域に深く関われる生徒」、「多様な人々と協働し、課題の解決に取り組むことができる生徒」の育成を目指しています。

私たちが「おがわ学」の実践を進める中で向き合うことになった課題が二つあります。一つは、小川町の教育資源の何をどう教材化するのか。もう一つは、探究的な学びをどう実践して生徒の未来を切り拓く力を育成するのか。一つ目の地域の教育資源の教材化については、町内の小学校、中学校と連携した体系的な教材開発が進みました。二つ目の探究的な学びの実践については、まさに新しい学習指導要領の先行的な実践という意味を持ちます。小川町の歴史や文化、自然、産業などを「知る」こと、そこから見出された事象や課題について考える（「学ぶ」）こと、そして、学んだことを自分自身の将来や地域の将来に「活かす」こと、これらを通じて「自分ごと」として課題に取り組む学びのプロセスにチャレンジしました。

文部科学省の研究指定は、本年度を以て終了となりますが、この3年間の成果と課題をふまえ、「おがわ学」がこれから更に発展・深化できるよう取り組んでまいります。その一つの試みとして、小川町教育委員会の皆様から「大人のおがわ学」という新たな提案をいただいています。「おがわ学」が児童・生徒の学びだけでなく、広く地域の皆様と共にある学びとなる新たな第一歩と考えています。

今後も「おがわ学」は、多くの人々の願いや思いを結集しながら、試行錯誤の中でよりよいものに改善され、バージョンアップされていくものと信じています。「おがわ学」を通じて成長する生徒たちの笑顔を信じ、「おがわ学」に関わる皆様の力で「おがわ学」を推進したいと思います。これまで、埼玉県教育委員会、小川町、小川町教育委員会、地域住民の皆様をはじめ、関係の皆様から手厚いご指導とご助言をいただきながら研究・実践を推進してまいりました。あらためて深く感謝申し上げますと共に、皆様には、今後の更なるご指導、ご支援を賜りますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

目次

巻頭言	1
目次	2
I 研究開発概要	3
1 研究開発実施計画書	3
2 研究開発実施報告書	7
3 関連資料	11
II 研究開発会議報告	13
1 構想委員会報告	13
2 担当者会議報告	13
3 推進協議会報告	14
4 運営指導委員会報告	14
III 実施科目報告	15
1 地理A・LHR	15
2 日本史	17
3 世界史B	21
4 生物基礎	24
5 総合的な探究の時間「日本文化史研究（近現代）」	28
6 総合的な探究の時間「日本文化史研究（古典）」	30
7 総合的な探究の時間「総合歴史研究」	34
8 総合的な探究の時間「総合社会研究」	37
9 総合的な探究の時間「数学研究」	39
10 総合的な探究の時間「くらしと科学」	42
11 総合的な探究の時間「OGAWA健康スポーツ学」	45
12 総合的な探究の時間「町に届ける演奏会」	48
13 総合的な探究の時間「生活と美術」	49
14 総合的な探究の時間「グローバルイングリッシュA」	53
15 総合的な探究の時間「グローバルイングリッシュB」	56
IV 地域と連携した取組等	60
1 おがわ学オリエンテーション	60
2 小川町役場政策推進課 出前授業	60
3 ホタル観察会	60
4 夏期集中講座SDGs講座	61
5 PTA研修旅行 小川町歩き	61
6 「総合的な探究の時間」展示会	62
7 「おがわ学」児童生徒作品展	62
8 高等学校図書館担当者向け研修	63
V 研究成果発表	64
1 「総合的な探究の時間」中間発表会	64
2 おがわ学フォーラム	64
3 「総合的な探究の時間」校内発表会	66
VI 成果と課題	69
1 本年度の成果	69
2 今後の課題	69

I 研究開発概要

1 研究開発実施計画書

(1) 指定校名・類型

学校名 埼玉県立小川高等学校
学校長名 荻塚 雄一
類型 地域魅力型

(2) 研究開発名

「おがわ学の構築・実践」学校と地域の未来を創ろう！プロジェクト

(3) 研究開発の概要

小川町の小中学校、県立小川高等学校の児童生徒が、発達段階に応じて地域の文化や歴史、産業等を学び、地域へ参画し、地域課題の解決に取り組む学びである「おがわ学」を構築し、総合的な探究の時間や各教科の中で横断的に活用していく。

(4) 学校設定教科・科目の開設、教育課程の特例の活用

- ア. 学校設定教科・科目を開設していない
- イ. 教育課程の特例の活用をしていない

(5) 事業の実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(6) 令和3年度の研究開発実施計画

- ア. 各教科・科目における「おがわ学」の構築・実践
 - ・令和2年度に引き続き、各教科・科目の中で小川町の教育資源を活用した探究的な学びを行う。外部講師の活用や体験・見学など身近な教材を用いることで課題意識を高め、自然科学、人文科学、社会科学など各教科・科目の専門性を生かした探究を通じて、科学的な思考方法や探究方法を学ぶ。
 - ・地域の教育資源の教材化にあたり、地域連携コーディネーターを積極的に活用し、教科・科目のねらいに則した外部講師の選定や資料収集を行えるよう工夫する。
 - ・「おがわ学」を進める核となる教科・科目として、新たに「日本史」を位置づけ、小川町の伝統や文化について歴史的な探究ができるようにする。
 - ・令和2年度までに実践された授業においては、ルーブリック等を用いたパフォーマンス評価の実施や、授業前後の生徒の変化変容を見取る質問紙調査を取り入れ、授業計画・授業実践を改善していく。
- イ. 「おがわ学」と「総合的な探究の時間」を関連付けた取組
 - ・1・2学年の各教科・科目等における「おがわ学」の成果を踏まえ、3学年の「総合的な探究の時間」では、小川町の課題を見出し、その解決に向けた構想を考察する探究的な学びを行う。地域課題の発見とその解決に向けた考察では、各教科・科目の特

質に応じた見方・考え方を働かせ、自然科学、人文科学、社会科学など多様な分野を総合的・横断的に考察・構想できるよう配慮する。

- ・「総合的な探究の時間」において探究のプロセスである①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現、及び⑤振り返り・考えの更新をより意識した授業を設計するために、「探究的な学習」に係る共通のテキストを使用し、授業実践を行う。
- ・担当教員向けの授業づくり研修会や生徒向けの講習会を行い、生徒自身が「自ら課題を見つけ探究する」ことができ、教員が適切に支援できるような環境を整備する。
- ・地域活動を行っている団体の支援の基、フィールドワークや地域住民との協働的な学習、有識者による学習会などを実施することで、生徒自身が探究のプロセスと学習のサイクルを回していけるよう指導する。
- ・校内での成果発表の場を設定するとともに、NPO法人カタリバが主催する「マイプロジェクトアワード」などへも参加の機会を創出する。

ウ. 「おがわ学」と「GIGAスクール構想」を融合させた取組

- ・令和3年度に向けて整備させている高速大容量通信ネットワークを活用し、「おがわ学」の実践に積極的にICTを活用していく。可能な限りの電子化、ペーパーレス化を行うとともに、生徒同士の協働的な学びについてもタブレットPCなどを用いた双方向型コミュニケーションに変換していく。
- ・県内外の他校の生徒や有識者と双方向のコミュニケーションツールを使った、意見交換や議論する機会を創出する。「おがわ学」で学んだことを校外へ発信する機会を設けることにより、生徒が自身の取組をメタ認知することにつなげていく。
- ・「GIGAスクール構想」のもと、1人1台端末を前提として、地域課題の解決に向けた視点を取り入れる。

- ① 課題の設定 : 実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科書等横断的な課題を設定
- ② 情報の収集 : 文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験、フィールドワーク等
- ③ 整理・分析 : 統計による分析、思考ツール、テキストマイニング等で分析
- ④ まとめ・表現 : 論文作成、プレゼンテーション、ポスターセッション、提言等で発信

エ. 「おがわ学テキスト」のブラッシュアップ

- ・令和2年度に作成した「おがわ学テキスト」の見直し・改善を行うとともに、新たに開発された授業からテキストの内容として相応しいものを追加していく。また、各教科の専門性を生かしながら、探究のプロセスを充実させたものとする。

(7) 事業実施体制

課題項目	実施場所	事業担当責任者
「おがわ学」の内容の調査・研究	小川町役場 埼玉県立小川高等学校	おがわ学構想委員会委員長
探究的な学びに関する研究及び実践	小川町役場 埼玉県立小川高等学校 小川町立東中学校 小川町立西中学校 小川町立礪台中学校 その他	おがわ学構想委員会委員長
おがわ学フォーラムの開催	リリックおがわ 小川町役場 埼玉県立小川高等学校	おがわ学構想委員会委員長

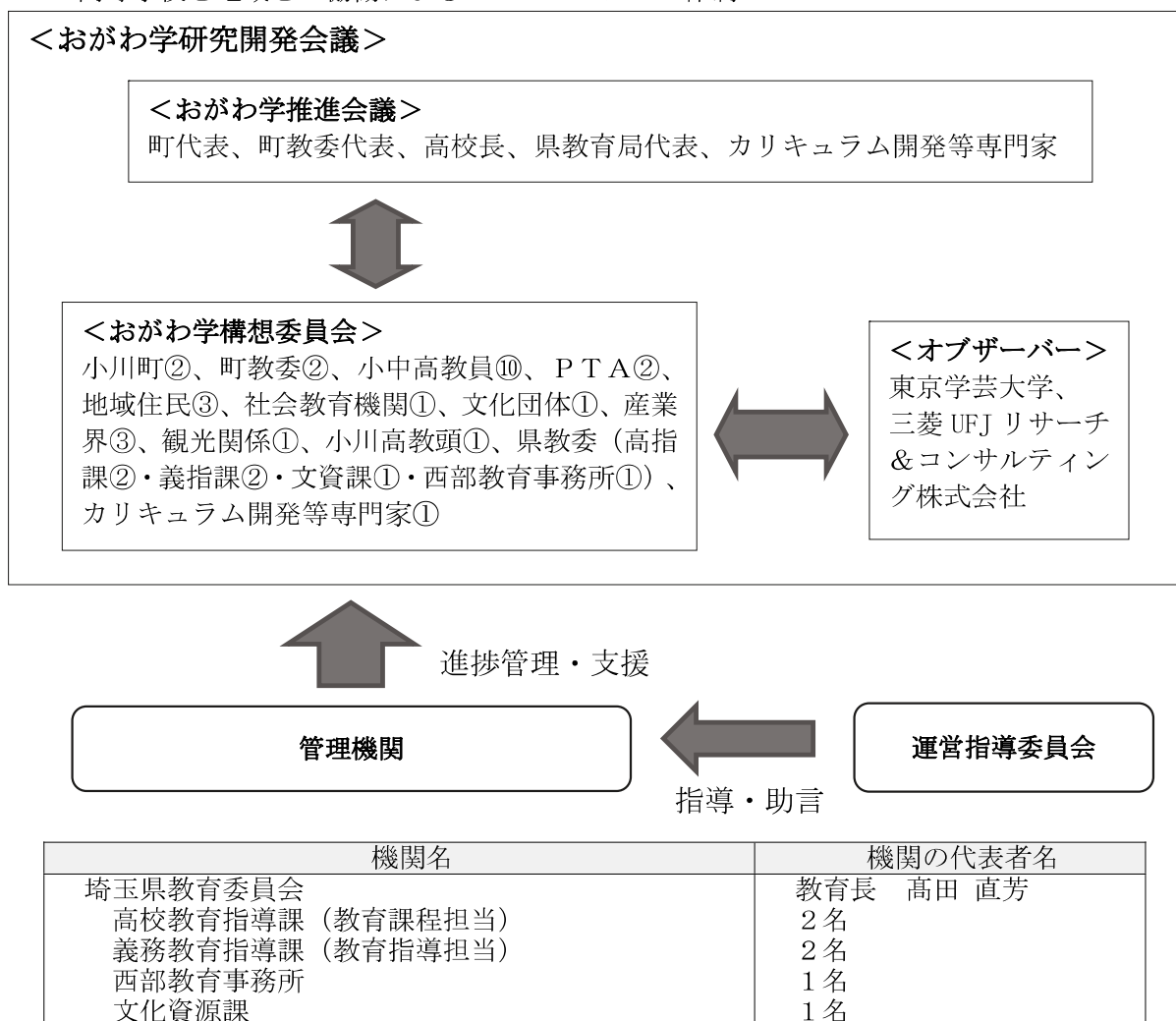
小川高校生の状況に応じた内容の実践	小川町役場 埼玉県立小川高等学校 その他	おがわ学構想委員会委員長
小川町立小中学校での教育に応じた内容の実践	小川町役場 小川町立東中学校 小川町立西中学校 小川町立樺台中学校 その他	おがわ学構想委員会委員長

運営指導委員会の体制

氏名	所属・職	備考
空閑 厚樹	立教大学コミュニティ福祉学部教授	有識者
若江 眞紀	株式会社キャリアリンク代表取締役	産業界
萬燈 智子	島根県立高校教諭	先進県
福島 みどり	埼玉県教育局西部教育事務所長	教育関係者
竹澤 幸一	埼玉県川越比企地域振興センター東松山事務所長	地域振興

※備考欄には、学校教育に専門的知識を有する者、学識経験者、関係行政機関の職員等、運営に関して指導・助言にあたる専門の区分を記入すること

高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制



小川町 政策推進課 小川町教育委員会（小中学校教員含む） 学校教育課 小川町立小学校 6校 小川町立中学校 3校 地域住民 P T A 社会教育機関	町長 松本 恒夫 2名 教育長 小林 和夫 2名 6名 3名 3名 2名 町立図書館長 新田 文子
埼玉県立小川高等学校	校長 葦塚 雄一 教頭 教諭
ホンダ・・・産業界 町商工会（松岡醸造）・・・産業界 有機農業生産グループ・・・産業界 細川紙技術者協会・・・文化 東武トップツアーズ・・・観光	1名 1名 1名 1名 1名
コーディネーター	1名
※東京学芸大学	1名
※三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社	2名

※はオブザーバーとして参画

カリキュラム開発専門家、海外交流アドバイザー、地域協働学習実施支援員

分類	氏名	所属・職	雇用形態
カリキュラム開発専門家		埼玉県	会計年度任用職員
地域協働学習実施支援員		埼玉県	会計年度任用職員

（8）課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（契約締結日～令和4年3月31日）												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
「おがわ学」の内容の調査研究及び実践	→												
探究的な学習の調査研究及び実践	→												
おがわ学フォーラムの開催				→									
高校の内容の実践	→												
小中学校の内容の実践	→												

2 研究開発実施報告書

令和3年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発の実施状況を、下記のとおり報告します。

(1) 事業の実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(2) 指定校名・類型

学校名 埼玉県立小川高等学校
 学校長名 菫塚 雄一
 類型 地域魅力化型

(3) 研究開発名

「おがわ学の構築・実践」学校と地域の未来を創ろう！プロジェクト

(4) 研究開発概要

小川町の小中学校、県立小川高等学校の児童生徒が、発達段階に応じて地域の文化や歴史、産業等を学び、地域へ参画し、地域課題の解決に取り組む学びである「おがわ学」を構築し、総合的な探究の時間や各教科の中で横断的に活用していく。

(5) 教育課程の特例の活用の有無

無

(6) 管理機関の取組・支援実績

ア. コンソーシアムについて

① コンソーシアムの構成団体

高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

機関名	機関の代表者名
埼玉県教育委員会 市町村支援部 高校教育指導課 義務教育指導課 西部教育事務所 文化資源課	教育長：高田 直芳 副部長：古垣 玲 教育指導幹：田中 邦典 指導主事：野澤 優太 教育指導幹：岡島 満 指導主事：采澤 敬 指導主事：歌代 圭介 指導主事：坂本 圭一郎
小川町 政策推進課 小川町教育委員会（小中学校教員含む） 学校教育課 小川町立小学校6校 小川町立中学校3校	町長：松本 恒夫 副町長：中村 寛 課長：矢島 富男 主幹：青木 洋 教育長：小林 和夫 課長：沼野 友宏 指導主事：横山 大輔 教頭：篠澤 和泉 主幹教諭：秦 健太郎 主幹教諭：島本 浩美 教諭：島野 修次 教諭：馬場 悦子 教諭：葛野 かすみ 教頭：茂手木 直人 教頭：瀧澤 彰滋 教諭：原川 純一 教諭：水庭 健仁

地域住民 P T A 社会教育機関	東洋大学：吉田 善一 地元会社経営者：近藤 嘉則 町区長会長：鈴木 好幸 町P T A連合会（小中）幹事：工藤 陽子 高校P T A会長：蝦田 由加 高校P T A後援会長：伊得 浄子 町立図書館長：新田 文子
埼玉県立小川高等学校	校長：葦塚 雄一 教頭：篠田 俊文 教諭：花輪 恵
ホンダ 霜里学校 有機農業生産グループ…産業界 細川紙技術者協会 …文化 東武トップツアーズ …観光	ホンダ：圓山 昇 代表：安藤 和広 有機農家関係者：佐藤 和美 細川紙技術者協会：内村 久子 東武トップツアーズ：望月 康紀
コーディネーター	新井 和弘
※東京学芸大学	こども未来研究所：高橋 真生
※三菱 UFJ リサーチ& コンサルティング株式会社	主任研究員：阿部 剛志 副主任研究員：喜多下 悠貴

※はオブザーバーとして参画

②活動日程・活動内容

活動日程	活動内容
令和3年5月14日(金)	第1回「おがわ学」構想委員会 ・令和3年度の進め方について協議 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年5月17日(月)	第1回「おがわ学」推進協議会 ・第1回おがわ学構想委員会について報告 ・令和3年度の進め方について意見交換 ・「おがわ学」フォーラムについて意見交換 ・令和4年度以降の「おがわ学」の在り方について意見交換
令和3年7月2日(金)	第1回「おがわ学」担当者会議 ・令和3年度の計画について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年7月29日(木)	第2回「おがわ学」担当者会議 ・小学校の取組について報告 ・人材バンクについて報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年8月19日(木)	第2回「おがわ学」推進協議会 ・第1回「おがわ学」運営指導委員会について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」の運営体制について協議 ・「おがわ学」フォーラムについて協議

令和3年8月26日(木)	第2回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」運営指導委員会について報告 ・1学期の授業実践及び今後の予定について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」運営体制について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年9月28日(火)	第3回「おがわ学」担当者会議 ・人材バンクについて報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年10月26日(火)	第3回「おがわ学」推進協議会 ・「おがわ学」フォーラムの実施計画について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」運営体制について協議
令和3年11月10日(水)	第3回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について協議 ・3年間の総括について協議
令和3年11月10日(水)	第4回「おがわ学」担当者会議 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について報告 ・中学校の取組について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和4年1月18日(火)	第5回「おがわ学」担当者会議 ・「おがわ学」フォーラムについて振り返り ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について協議 ・3年間の成果の検証について協議
令和4年3月10日(木)	第4回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について進捗確認 ・3年間の成果の検証について意見交換
令和4年3月28日(月)	第4回「おがわ学」推進協議会 ・「おがわ学」フォーラムについて報告 ・「おがわ学」テキスト・骨子について報告 ・3年間の成果の検証について報告

イ. 運営指導委員会について

①運営指導委員会の構成員

氏名	所属・職	備考
空閑 厚樹	立教大学コミュニティ福祉学部教授	有識者
若江 眞紀	株式会社キャリアリンク代表取締役	産業界
萬燈 智子	島根県立高校教諭	先進県
福島 みどり	埼玉県教育局西部教育事務所長	教育関係者
竹澤 幸一	埼玉県川越比企地域振興センター東松山事務所長	地域振興

②活動日程・活動内容

活動日程	活動内容
令和3年8月3日(火)	第1回「おがわ学」運営指導委員会 ・今年度の取組及び進捗状況についての指導助言
令和3年12月22日(水)	第2回「おがわ学」運営指導委員会 ・小川高校校内発表会視察及び進捗状況についての指導助言
令和4年3月23日(水)	第3回「おがわ学」運営指導委員会 ・3年間の成果の検証報告 ・令和4年度以降の運営体制について報告 ・事業全体への指導助言

ウ. 管理機関における取組について

①管理機関（コンソーシアム含む）における主体的な取組について

- ・ 構想委員会及び推進協議会の企画、運営
- ・ 運営指導委員会の企画、運営
- ・ 職員研修会の企画、運営
- ・ 町、町教委、高校との定例ミーティングの企画、調整、運営
- ・ 「おがわ学」の授業支援

②事業終了後の自走を見据えた取組について

- ・ 先進校との意見交換、情報収集
- ・ 予算確保に向けた情報収集
- ・ コミュニティスクールについての調査・研究

③高等学校と地域の協働による取組に関する協定文書等の締結状況について

- ・ なし（令和元年度小川町と小川高校で連携協定を締結済）

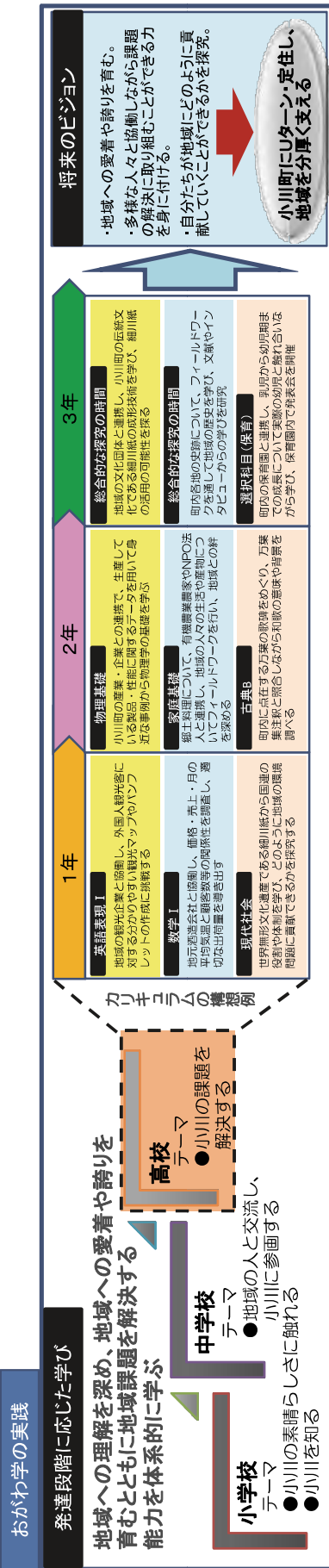
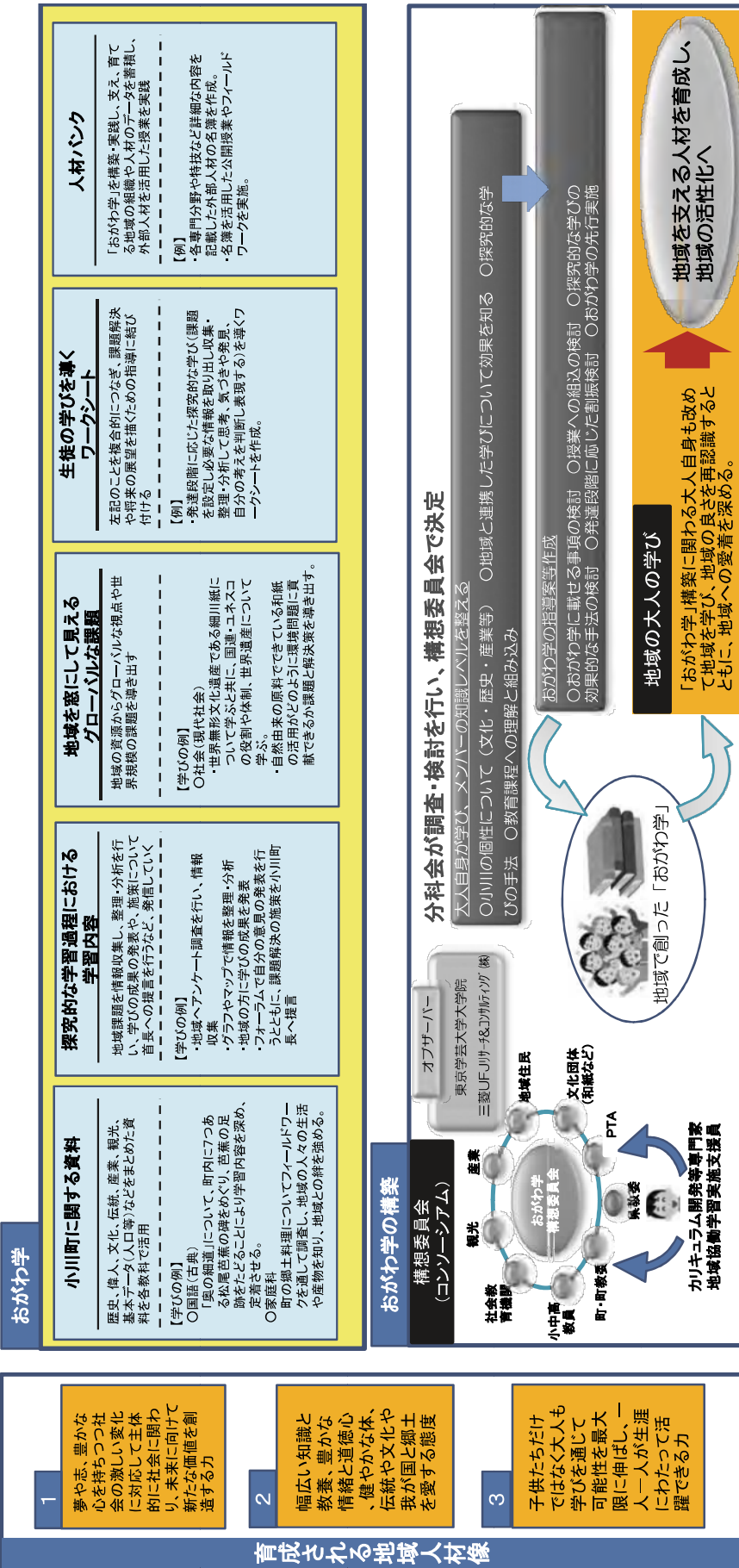
地域との協働による高等学校教育改革推進事業 目標設定シート

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値(年度)
a	(卒業時に生徒が習得すべき具体的能力の定着状況を測るものとして、管理機関において設定した成果目標) 横断的・総合的な学習を通して探究的な見方・考え方を働かせ、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を習得した生徒の割合					単位： %
	本事業対象生徒：		62.5%	42.2%	62.9%	70%
	本事業対象生徒以外：		63.5%	54.5%	54.5%	-
目標設定の考え方：3学年時の「総合的な探究の時間」において7割の生徒が評価A						
b	(高校卒業後の地元への定着状況を測るものとして、管理機関において設定した成果目標) 生徒の意識と行動に係るアンケート調査の結果、「将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある」と肯定的な回答をした生徒の割合					単位： %
	本事業対象生徒：		47.8%	37.9%	57.1%	60%
	本事業対象生徒以外：		-	-	47.7%	-
目標設定の考え方：地域への貢献について6割の生徒が意識向上						
c	(その他本構想における取組の達成目標) 高校卒業後に地元企業に就職した卒業生の人数					単位： 人
	本事業対象生徒：		30	25	34	32人
	本事業対象生徒以外：		29	25	0	-
目標設定の考え方：就職希望者(例年約40人)のうち8割が地元企業に就職						

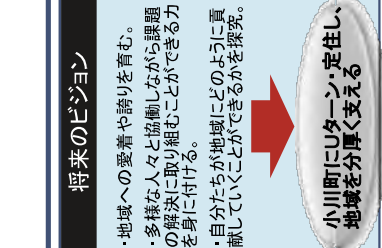
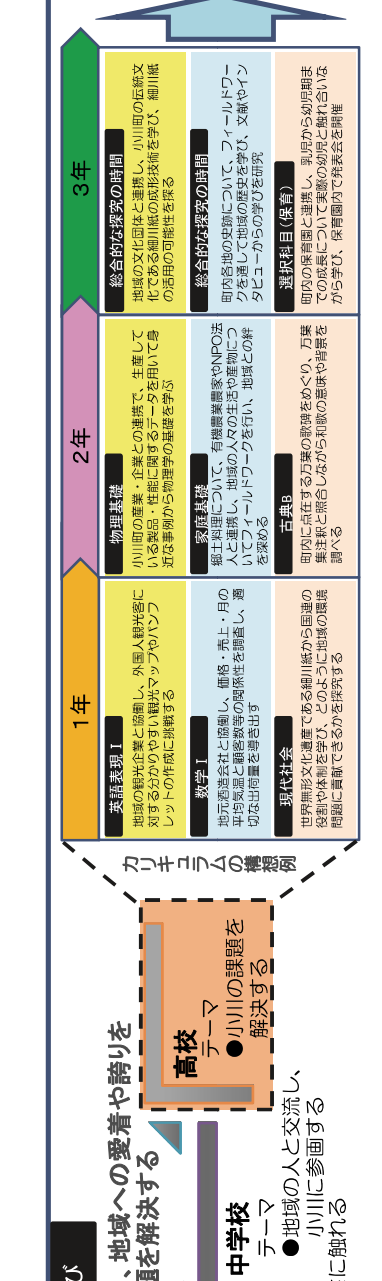
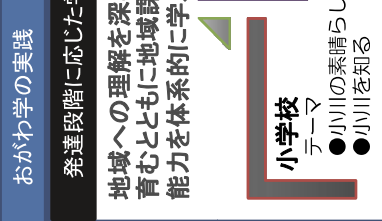
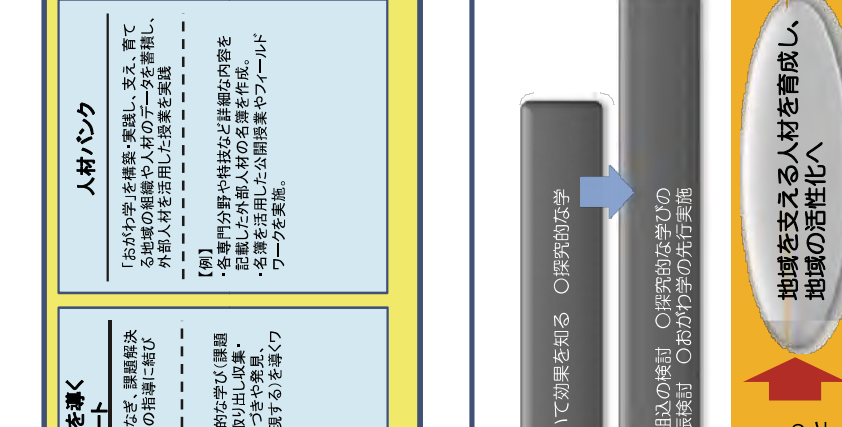
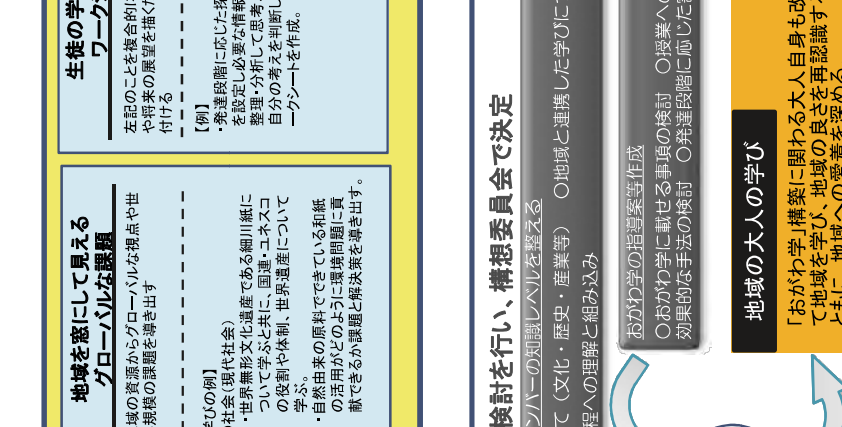
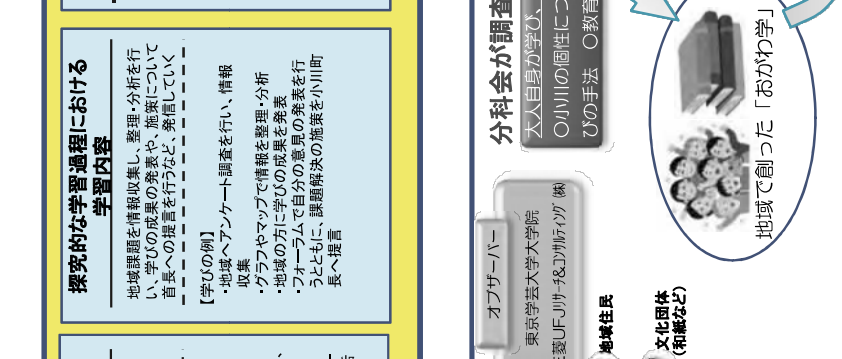
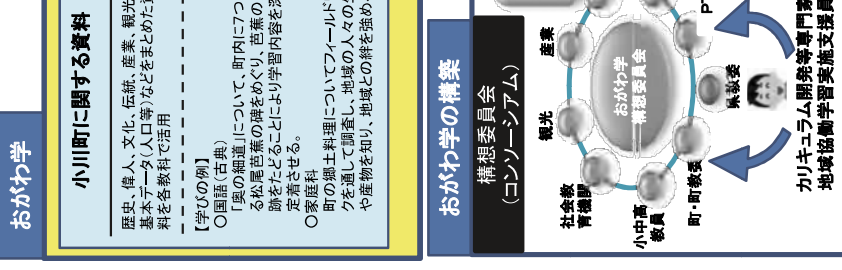
2. 地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値(年度)
a	(地域課題研究又は発展的な実践の実施状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標) 各教科・総合的な探究の時間において「おがわ学」を活用した、年間の総授業数					単位： 回／年
	0	0	55	532	628	65回／年
目標設定の考え方：目標設定の考え方：教科25回程度、総合的な探究の時間40回程度						
b	(普及・促進に向けた取組の実施状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標) 成果報告会の実施回数と参加者数					単位： 回・人
		1回・230人	1回・200人	1回・850人	3回・1599人	1回・300人
目標設定の考え方：学校、教育委員会、企業、行政、関係団体が参加するフォーラムを開催(1月)						
c	(その他本構想における取組の具体的指標)					単位： 回
目標設定の考え方：						

3. 地域人材を育成する地域としての活動指標（アウトプット）						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値(年度)
a	(地域人材を育成する地域としての活動の推進状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標) コンソーシアム(おがわ学構想委員会)の構成団体数					単位： 団体
	0団体	0団体	10団体	10団体	10団体	10団体
目標設定の考え方：県教委、町役場、町教委、小中高等学校、産業、文化、観光、社会教育団体、学校応援団、地域住民						
d	(その他本構想における取組の具体的指標) コンソーシアム(おがわ学構想委員会)の活動回数					単位： 回
	0回	0回	13回	14回	13回	10回
目標設定の考え方：構築委員会＋分科会開催 3回、分科会のみ開催 7回(テレビ会議等による実施も含む。)						

「おがわ学の構築・実践」一学校と地域の未来を創ろう！プロジェクト



- 1 夢や声、豊かな心をもちつつ社会の激しい変化に対応して主体的に社会に関わり、未来に向けて新たな価値を創造する力
- 2 幅広い知識と教養、豊かな情緒と道徳心、健やかな体、伝統や文化や我が国と郷土を愛する態度
- 3 子供たちだけでなく大人も学びを通じて可能性を最大限に伸ばし、一人一人が生徒にわたって活躍できる力



Ⅱ 研究開発会議報告

1 構想委員会報告

日程・会場	活動内容
令和3年5月14日(金) 小川町役場3階大会議室	第1回「おがわ学」構想委員会 ・令和3年度の進め方について協議 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年8月26日(木) WEB会議	第2回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」運営指導委員会について報告 ・1学期の授業実践及び今後の予定について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」運営体制について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年11月10日(水) 小川町立図書館2階 視聴覚室	第3回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について協議 ・3年間の総括について協議
令和4年3月10日(木) 小川町立図書館2階 視聴覚室	第4回「おがわ学」構想委員会 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について進捗確認 ・3年間の成果の検証について意見交換

2 担当者会議報告

日程・会場	活動内容
令和3年7月2日(金) 小川町立図書館2階 視聴覚室	第1回「おがわ学」担当者会議 ・令和3年度の計画について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年7月29日(木) 小川町立図書館2階 視聴覚室	第2回「おがわ学」担当者会議 ・小学校の取組について報告 ・人材バンクについて報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年9月28日(火) WEB会議	第3回「おがわ学」担当者会議 ・人材バンクについて報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年11月10日(水) 小川町立図書館2階 視聴覚室	第4回「おがわ学」担当者会議 ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について報告 ・中学校の取組について報告 ・「おがわ学」フォーラムについて協議

令和4年1月18日(火) WEB会議	第5回「おがわ学」担当者会議 ・「おがわ学」フォーラムについて振り返り ・「おがわ学」テキスト・骨子の検討について協議 ・3年間の成果の検証について協議
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

3 推進協議会報告

日程・会場	活動内容
令和3年5月17日(月) 小川町役場第1委員会室	第1回「おがわ学」推進協議会 ・第1回おがわ学構想委員会について報告 ・令和3年度の進め方について意見交換 ・「おがわ学」フォーラムについて意見交換 ・令和4年度以降の「おがわ学」の在り方を意見交換
令和3年8月19日(木) WEB会議	第2回「おがわ学」推進協議会 ・第1回「おがわ学」運営指導委員会について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」の運営体制について協議 ・「おがわ学」フォーラムについて協議
令和3年10月26日(火) 小川町役場第2委員会室	第3回「おがわ学」推進協議会 ・「おがわ学」フォーラムの実施計画について報告 ・令和4年度以降の「おがわ学」運営体制について協議
令和4年3月28日(月) 小川町役場大会議室	第4回「おがわ学」推進協議会 ・「おがわ学」フォーラムについて報告 ・「おがわ学」テキスト・骨子について報告 ・3年間の成果の検証について報告

4 運営指導委員会報告

日程・会場	活動内容
令和3年8月3日(火) WEB会議	第1回「おがわ学」運営指導委員会 ・今年度の取組及び進捗状況の報告 ・取組の方向性への指導助言
令和3年12月22日(水) 県立小川高等学校	第2回「おがわ学」運営指導委員会 ・小川高校校内発表会の視察 ・進捗状況の報告 ・発表内容及び進捗状況への指導助言
令和4年3月23日(水) WEB会議	第3回「おがわ学」運営指導委員会 ・3年間の成果の検証報告 ・令和4年度以降の運営体制について報告 ・事業全体への指導助言